

まつば

町田市議会議員

松葉ひろみ

松葉ひろみ通信

Vol. 34

2025年・秋冬号



「皆さまの声」を市政に届けます 市民相談4200件

松葉ひろみです。市議会議員として3期12年、4200件を超える市民相談を受け、市民の皆さまの声を市政に届けてきました。特に女性や障がいのある方、高齢者など社会的に弱い立場の皆さまの力になりたいと、これまで出産・育児サポート、障がい者支援などの分野で多くの仕事をさせていただきました。これからも「あなたの声が出発点」との思いを胸に、市民の皆さまの笑顔のために働き続けてまいります。

町田市議会議員 松葉 ひろみ

議会レポート 南大谷ガード下道路等の渋滞改善へ

都市計画道路 3・4・34号線の整備事業について

9月の町田市議会定例会において、この事業について一般質問で取り上げました。

地元の皆さまからは、いつ頃の完成予定なのか、現道の渋滞や安全対策などのご要望を継続的に頂いておりました。



現道状況写真（南大谷ガード下）

この事業は、**自動車交通の円滑化、安全な歩行者環境の確保、避難施設へのアクセス向上を目的に**、南大谷交差点から恩田川と並行して南大谷小学校・中学校の間を通る幅員16m、延長約1kmの区間を整備するものです。町田都市計画道路3・4・9号線（成瀬三ツ又交差点から恩田川方面へ進み、3・4・34号線と接続）と合わせて事業を進めています。

事業認可期間は7年間で**2031年度に完成予定**となります。

（用地の取得状況等により、事業認可期間を延伸することがあります）

詳細は
こちら



松葉ひろみ MATSUBA hiromi

- ▶ 町田市議会議員3期目
- ▶ 公明党町田総支部 青少年健全育成部長・商店街振興部長
- ▶ 町田市視覚障害者協会 顧問 ▶ 防災士 ▶ ピンクリボンアドバイザー（中級）
- ▶ 埼玉県出身、創価女子短期大学卒 ▶ 夫、3男2女、孫5人、玉川学園在住

▶ ホームページ・メール・SNS



「皆さまの声」から実現した、松葉ひろみの実績

【出産・育児サポート】

子育て情報をひとまとめ！「まちだ子育てサイト」

「夜間に子どもの具合が悪くなったら？」「手当や給付の申し込みは？」「子育てに悩んだ時は？」
知りたい情報がバラバラに掲載されてて、分かりにくい！

——そんな「声」に応えて実現しました——

一目でわかる見やすいサイト。目的、年齢、施設から、知りたい情報に
すぐアクセス。子育て中のお母さん、お父さんに大好評です。



詳細は
こちら



産後ケアの導入と充実

「出産後、自宅に戻っても家族の手伝いがなく不安」「授乳が上手くいかない」などの
悩みを抱えるお母さんのための産後ケア制度の導入を推進。助産師
などのプロから医療機関・助産院でケアを受けられる宿泊型・日帰り
型と、自宅でケアを受けられる訪問型で手厚く支援。利用期間の延長
や利用日数の拡大など制度の充実も進めました。



【障がい者支援】

市からの郵送物に音声コード

視覚障がいのある方は、郵便物の中身がわかりません。点字が読める人は少ないため、スマホの
アプリで読み込むことのできる音声コード（U n i - V o i c e）の活用を提案し、実現しま
した。

【高齢者支援】

一人暮らしの高齢者のため ICT 見守り事業

高齢者の孤独死が社会問題化。

いざという時の不安を払拭するために、通信機能を有した
L E D電球（ハローライト）を使用した高齢者見守り事業を
形にしました。

自宅のトイレや洗面所など、毎日使用する場所の電球を
ハローライトに交換することで、24時間、電球の点灯や
消灯の動きがない場合、登録した家族（友人も可）に
メールでお知らせが届きます。

※現在、65歳以上の人一人暮らしの方（所得制限なし）が対象者。

※市が12か月間の利用料金を負担します。



詳細は
こちら



「困ったお声」に寄り添う政策を、町田市で実現

【病後・病児支援】

がん患者へのアピアランスケア助成

がんの治療にともなう外見の変化に起因する悩みを軽減するためのアピアランスケア用品は高額です。精神的負担、身体的負担、経済的負担を抱える当事者の社会復帰を支援するため、アピアラスケア用品購入費助成を訴え、実現しました。

医療的ケア児の保育園受け入れを推進

あるお母さんの2歳の娘さんが「1型糖尿病」と診断されました。

生活習慣が原因の2型とは異なり、血液中の糖分をコントロールするインスリンが体内で分泌できなくなる原因不明の疾患です。幼い娘さんに代わり、お母さんが毎日インスリン注射を打つてあげる必要があったのです。

しかし、母子家庭で働くお母さんが保育園に通い注射をすることは不可能。市に相談するも「医療的ケア児の受け入れは行っていない」との回答でした。市内の保育園を回りましたが、どこも良い反応は得られませんでした。

松葉ひろみは党員を通じて、このお母さんの状況を聞き、即座に対応に動きました。

町田市・子ども生活部に直接働き掛けたほか、議会で「医療的ケア児の受け入れに向けて各保育園を支援してほしい」と提言。そして3ヶ月後、提案が実現し、主治医の協力なども得て、晴れて保育園に入園することができたのです。

この入園事例をもとに医療的ケア児の受け入れの促進が「市子ども発達支援計画（第一期障害児福祉計画）」に盛り込まれ、協議会が立ち上がり、安全な体制の構築に向けたガイドライン策定へと結実。

現在では公立保育園での入園枠が設けられるようになりました。



詳細は
こちら



【防災】

避難行動計画「マイ・タイムライン」作成の周知と啓発

防災士として、災害時の避難行動計画「マイ・タイムライン」作成の周知と啓発の取り組みを進めました。女性視点の防災ブック「東京くらし防災」の配布も推進。災害時に身につけることで、支援を受けやすくなる「災害時障がい者支援バンダナ」の配布も実現しました。

耳で聴くハザードマップ

災害時に役立つハザードマップの情報は、視覚障がいのある方には届きません。

そこで耳で聴くハザードマップの必要性を訴え、導入を推進しました。



「あなたのミカタ」松葉ひろみは実現します！

① 子育て・教育支援

「0円子育て」で経済的負担を軽減

- ・幼稚園、保育園の給食費の無償化。
- ・学校の教材費や学用品、行事費などの無償化。
- ・高校生世代以下の通院費 200円の自己負担分を無償にして医療費を完全無償化に。
- ・小児インフルエンザ予防接種の公費助成。



② 医療・福祉、高齢者支援

高齢者の就労機会の拡大

- ・シルバー人材センターの拡充や、行政とあらゆる団体との連携強化で、高齢者の就労機会を増やし、誰でも生き生きと働ける環境を作ります。



単身高齢者の終身サポート

- ・単身の高齢者の不安を取り除くため、自身の死亡後に発生する葬儀などの手続きを依頼できる、社会福祉法人の死後事務委任の終身サポートを拡充します。

障がい者の情報保障

- ・聴覚や発話に困難のある方のために通訳オペレータが仲介する「電話リレーサービス」や、災害予測を音声で読み上げてくれる「耳で聴くハザードマップ」、印刷物の情報を音声で読み上げる「ユニボイス」など、障がい者の情報を保障するサービスを推進します。

手話言語条例の制定

- ・手話が独自の文法を持つ「言語」であると認め、手話への理解を促進するための「手話言語条例」を制定し、学校教育の場から手話を身近に感じられる共生社会を目指します。

③ 若者支援

若者総合相談センターの整備

- ・若者やその家族が無料で何でも相談できる「若者総合相談センター」を市内に設置します。



奨学金返済支援

- ・奨学金の返済支援や減免を推進します。

④ 魅力ある街づくりへ

デジタル地域通貨で経済を活性化

- ・市内限定のデジタル地域通貨（キャッシュレス決済）を発行し、給付金の活用などで市内経済を活性化させます。さらに、ボランティア活動などで集めた「いきいきポイント」などを付与することで、高齢者の健康を促すこともできます。

モノレール延伸と再開発

- ・多摩都市モノレールの町田延伸を進め、中心市街地やモノレール周辺地域の再開発を推進します。さらに、「映画館の誘致」や「文化芸術ホールの設置」などで、魅力ある街づくりを目指します。

⑤ 防災・防犯対策

感震ブレーカー設置補助

- ・地震の揺れを感じると自動的に電気を遮断し、地震による通電火災を防ぐ「感震ブレーカー」は、市内の木密地域などに無償配布されていますが、対象を市内全域に拡大し、希望する方へ設置補助を推進します。

安心して暮らせる街に

- ・地域住民と行政、警察が協力して、防犯カメラの設置や防犯パトロール、子どもの見守りを強化し、安心して暮らせる環境を整備します。